

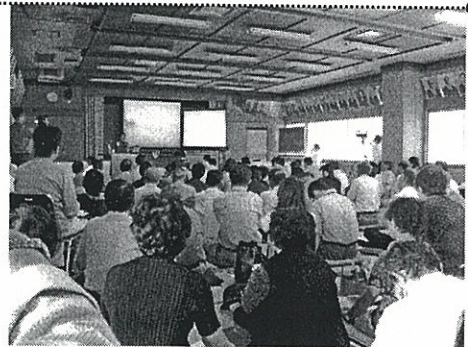
平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	自然環境再生セミナー実行委員会実施事業
事業主体 (連絡先)	自然環境再生セミナー実行委員会 代表 (実行委員会々長) 林 和弘
事業区分	
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,227,104 円 (うち支援金: 620,000 円)

事業内容

自然環境再生セミナーの実施

- 第1部 シンポジウム「よみがえれ水と緑と木の文化」
 基調講演 江戸川大学 恵 小百合 教授
 報告 ① 中山間地域取組取組…長野市の事例
 報告 ② 南信州における取組…地域6者から
- 第2部 自然環境演劇「約束の水」鑑賞
- 第3部 実践の輪を広げる場づくり
 ① プレイベント 山菜栽培講習会
 ② ワークショップ 中山間地域の自然環境保全・再生検討
 ③ 実践活動拠点づくり 体験の場における実践活動
 1.天龍村福島小学校 2.遠山郷中立 3.松川町部奈



シンポジウム「よみがえれ水とみどりと木の文化」

自己評価 (事業実施率) 【A】

事業効果

...美しい自然と歴史・文化を次代に伝えて行くため、自然を愛する郡市民が集い、取組の現状と方向を考えるよい機会になった。(第1部…130名、第2部…700名)
 ... 県外参加者もあり、外から見た南信州地域の自然環境の課題をしっかりと検討した(ワークショップ…12名)
 ... 地域の自然を活かした持続できる実践の場を広げることができた。(イベント…53名)
 ... 単にイベントで終わらせることなく、過疎も甦る実践体験の場づくりをすることができた。(実践活動拠点づくり…当初1ヶ所を3ヶ所で実施、延べ200名)
 ... メディアを通じ、企画とその実践を報道したことにより、郡市民に取組の大切さを広く知らせることができた。(推定40,000名)

【目標・ねらい】

- 自然環境保全・再生への意識昂揚
- 参加者 第1部 一般 75名
- 第2部 一般 500名
- 第3部 プレ 40名
- ワーク 10名
- 実践 50名

自己評価 (目標達成率) 【A】

今後の取り組み

...実行委員会は当初の目標に沿いセミナーを行い、終了とともに解散することとしているが、単なるイベントに留めず、実践活動のモデルとしての場をつくった。今後はその場を管理する者に運営を任せるが、今後は互いに連絡を取合いながら、当南信州地域における様々な実践活動に参加し、活動の輪を広げて行くことに、メンバー自らが積極的に寄与するとともに、さらに下流域の都市民との交流を考え、里山・里浜ネットワークを目指し、都市と山村の結びつけながら、地域活性化に繋がるよう、折をみて活動の再開を図り、これを展開して行くものとする。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70～89%「C」50～69%「D」49%以下で示すこと。